

# 第 70 年度（令和 5 年度）事業計画書

令和 5 年 4 月 1 日から令和 6 年 3 月 31 日まで

大阪府中央区道修町 3 丁目 1 番 8 号

公益財団法人 篷 庵 社

## 令和5年度事業計画

(令和5年4月1日～令和6年3月31日)

### I.事業の概要

本財団は、薬学等の進歩発展に資するため必要な研究を行うものに対し、下記に該当する研究者を対象に研究の助成並びに研究費の援助を行い、もって薬学の発展に寄与することを目的として、主要事業およびこれに付帯する事業として以下の活動を実施する。

- (1)優秀な素質を有するが、財源不足等のために研究の継続が困難である研究者
- (2)他からの助成を受けにくい薬学的な基礎研究を行なっている研究者
- (3)特に若手の独立前後で将来有望な研究者

#### 1. 研究助成金の交付

##### ◇「研究助成」

全国を対象に理事または評議員が、優秀な素質を有するが、財源不足等のために研究の継続が困難である研究者、また他からの助成を受けにくい薬学的な基礎研究を行なっている研究者、特に若手の独立前後で将来有望な研究者等、本財団の目的に相応しい研究者を候補者として選出する。選考委員会にて助成候補者を選考し、理事会で審議決定をする。

##### ◇「特別研究助成」

近畿2府4県以西を対象に公募する。選考委員会にて助成候補者を選考し、理事会で決定する。応募者との直接の利害関係者は選考の評決には加わらないよう選考委員会規程に定めている。

#### 2. 研究成果報告

- ・「第42回公益財団法人篷庵社研究助成発表会」を開催し、研究成果を口頭で報告してもらう。また、成果報告書（論文等）の提出を義務付けている。財団ホームページにて成果報告（研究助成発表会講演要旨等）の公開を行っている。

#### 3. 助成の募集

- ・「令和6年度特別研究助成」の公募を行う。

## II.事業の内容

### 1. 研究助成金の交付

1)研究助成（全国対象：50万円/件・年）：

4年目：5件、3年目：5件、2年目：5件、新規：5件

計 20件 計 1,000万円

2)特別研究助成

（近畿2府4県以西対象，250万円/件・年）：

2年目：4件、新規：4件

計 8件 計 2,000万円

**総計 28件 計 3,000万円を交付予定**

各助成金の交付先は【別紙1】の通り。

### 2. 第42回研究助成発表会の開催

令和5年7月7日（金）午前10時30分から

於 大阪新阪急ホテル（大阪府大阪市北区芝田1丁目1-35）

プログラムは【別紙2】の通り。

助成期間が終了した、平成31年度新規「研究助成」交付者および令和3年度新規「特別研究助成」交付者による研究成果の報告会を行う。

開催費：400万円

### 3. 助成の募集他

「令和6年度特別研究助成」の募集テーマ・募集要項を決定し、公募する。

また、選考委員会を開催し、研究助成及び特別研究助成の審査・選考を行う。

採択数は研究助成5件、特別研究助成4件程度の予定。

特別研究助成は、令和3年度よりWebシステムで募集している。

これら公益目的事業推進費：841万円

### 4. 設立70周年記念事業準備

70周年記念事業における褒章候補者の選考を行い、理事会で決定する。

費用：75万円

以上

## 令和 5 年度研究助成金交付先一覧表

◆ (1 件 50 万円×20 件= 計 1,000 万円)

助成	所 属 (申請時)	研 究 者 名	研究テーマ
4 年 目	大阪大学大学院薬学研究科	井川 貴詞	高歪み多環芳香族炭化水素の革新的合成
	国立医薬品食品衛生研究所	佐藤 薫	不飽和脂肪酸のグルタミン酸トランスポーター制御機構の解明と中枢神経系創薬への応用
	大阪大学産業科学研究所	滝澤 忍	環境低負荷型不斉ドミノ反応の開発と多官能性キラル複素環骨格構築への展開
	徳島大学大学院医歯薬学研究部 (薬学域)	立川 正憲	ヒト血液脳関門透過機構に基づく脳細胞標的化微粒子創製の基盤構築研究
	福井大学学術研究院医学系部門・分子生体情報学分野	山田 雅己	核移行因子 KPNA1 による軸索輸送制御メカニズムとその生理的意義の解明
3 年 目	大阪薬科大学 病態分子薬理学研究室	大喜多 守	急性腎障害に併発する血管機能障害に対する薬理学的研究
	北海道大学大学院先端生命科学研究院	北村 朗	神経変性疾患の核酸医薬創薬に向けたシャペロン RNA の実証
	富山大学 学術研究部 薬学・和漢系	久米 利明	新規アルツハイマー病モデルマウス由来組織を用いたタンパク質プロファイリングによるバイオマーカーの探索ならびに薬効予測系の開発研究
	岐阜薬科大学	田原 耕平	粘膜バリア突破型微粒子による革新的 DDS の創製と細胞機能制御
	三重大学 大学院医学系研究科 統合薬理学分野	西村 有平	データ駆動型アプローチとゼブラフィッシュを用いた肝庇護薬探索
2 年 目	東京大学 大学院薬学系研究科	上野 匡	機能性小分子を応用した細胞内シグナル伝達の操作と可視化
	広島大学 両生類研究センター 発生研究部門 発生再生シグナル研究ユニット	鈴木 厚	誘導因子シグナルによる胚発生と組織再生の制御機構
	富山大学 学術研究部 薬学・和漢系	南部 寿則	高反応性スピロシクロプロパンの開裂一環化反応を用いる新規環状化合物合成法の開発とその応用
	大阪大学大学院 基礎工学研究科	久木 一朗	ねじれたパイ共役分子を用いた水素結合性キラル多孔質結晶材料の開発
	日本大学文理学部生命科学科	安原 徳子	核輸送因子 importin $\alpha$ の細胞内機能の切り替えとその生理作用の解明
新 規	徳島大学医歯薬学研究部 応用栄養学分野	瀬川 博子	成長・老化を制御するリン代謝調節機構の解明
	京都大学大学院医学研究科薬剤学/医学部附属病院薬剤部	中川 貴之	シュワン細胞を標的とした末梢神経再生に基づく末梢神経障害治療薬の探索
	高崎健康福祉大学薬学部・薬学科 分子動態制御学	中西 猛夫	肝物質動態の変化に基づく N A F L D の病態理解と診断法の開発
	東京医科歯科大学 生体材料工学研究所	藤井 晋也	有機金属化合物の特性を利用した分子設計法の開発と医薬リード創出
	大阪大学大学院薬学研究科 生物有機化学分野	山口 卓男	創薬応用に向けた多機能人工核酸の開発

◆ 特別研究助成 (1件250万円×8件 = 計2,000万円)

助成	所属 (申請時)	研究者名	研究テーマ	
2 年 目	薬学系	九州大学 大学院薬学研究院 疾患制御学分野	仲矢 道雄	線維化関連難治性疾患の創薬標的分子の同定とその治療応用
	薬学系	大阪大学 大学院薬学研究院 科	武村 直紀	細胞外微粒子による炎症応答を抑える高活性化合物の機能解明と間質性肺炎治療への応用
	医学系	川崎医科大学 医学部 分子 遺伝医学教室	大友 孝信	小胞輸送障害により生じる新規疾患の病態解明と、幅広いリソソーム病治療法開発への応用
	医学系	大阪大学 大学院医学系研究科 創薬神経科学共同研究講座/分子神経科学講座	糸数 隆秀	生体内異種細胞間相互作用に着目したパーキンソン症候群新規治療ストラテジーの創出
新 規	薬学系	大阪大学 大学院薬学研究院 科	尾花 理徳	個体恒常性の加齢性変容にも影響しうる新たな腎老化制御機構の解明
	薬学系	和歌山県立医科大学 薬学部	相馬 洋平	異常核タンパク質の化学変換を基盤とした認知症治療変革への挑戦
	医学系	理化学研究所生命機能科学研究センター 心臓再生研究チーム	木村 航	心筋ターンオーバーにおける低酸素シグナルの機能と加齢性心不全治療への応用
	医学系	島根大学 医学部 発生生物学	藤田 幸	加齢に伴う脳機能低下の分子機序解明

## 第42回公益財団法人篷庵社研究助成発表会

日 時： 令和5年7月7日(金)10時30分から16時50分

場 所： 大阪新阪急ホテル

大阪府大阪市北区芝田1丁目1番35号

10:30-10:35	ご挨拶	公益財団法人篷庵社 理事長 武田 禮二	
		演 題 (講演20分、討論10分)	座 長
10:35-	1.	熱ショックタンパク質70のがん進展における機能解明と治療標的化 塩田 正之 先生 (大阪公立大学大学院 医学研究科)	岩尾 洋 先生
11:10-	2.	刺激応答性光増感分子の開発と腫瘍セラノスティクスへの展開 三木 康嗣 先生 (京都大学大学院工学研究科)	戸部 義人 先生
11:45-	3.	治療標的となるがん幹細胞の可塑性に關与する因子の検討 池田 純一郎 先生 (千葉大学大学院医学研究院 診断病理学・病理診断科)	北村 幸彦 先生
12:15-	昼 食 休 憩		
13:05-	4.	新規蛍光団の創製を基盤とした蛍光プローブの開発 花岡 健二郎 先生 (慶應義塾大学薬学部・大学院薬学研究科)	長野 哲雄 先生
13:40-	5.	細胞内脂質調節薬剤の開発と炎症制御メカニズムの解析 早川 清雄 先生 (日本医科大学 生化学・分子生物学 (代謝・栄養学))	伊勢村 護 先生
14:15-	6.	《特別研究助成》 ユビキチン化酵素融合nanobodyから創り出す、新しい細胞内 分子標的がん治療 稲野 将二郎 先生 (公益財団法人田附興風会 医学研究所 北野病院)	塩野義製薬(株) 研究員
14:45-	休 憩		
15:05-	7.	《特別研究助成》 Hippo-YAP経路によるメラノサイトの老化制御のがん化進展における 役割の解明とその新規作用点を標的とする独創的治療戦略の開発 福本 毅 先生 (神戸大学医学部附属病院)	塩野義製薬(株) 研究員
15:40-	8.	《特別研究助成》 がんの核酸医薬治療を目指したペプチド材料の開発 大庭 誠 先生 (京都府立医科大学大学院医学研究科)	塩野義製薬(株) 研究員
16:15-	9.	《特別研究助成》 がんゲノム変異により異常をきたすタンパク質間相互作用の 効率的同定と新規創薬標的の探索 樋野 展正 先生 (大阪大学大学院薬学研究科)	塩野義製薬(株) 研究員